

代表者名	加藤 清美	所管部課名	産業労働部観光課
所在地	横手市赤坂字富ヶ沢62-46	設立年月日	平成5年5月18日

【沿革及び県の出資理由】

本県の文化遺産の継承、新たな郷土文化創造拠点として、また新たな観光拠点として、この二つの機能を十分に生かし相乗効果による県民文化の向上と地域産業の振興を図ることを目的に県等の出資により設立。

【出資者】(22年度当初)

(千円、%)

区分	団体数	出資額	構成比
秋田県	1	250,000	50.5
市町村	4	69,000	13.9
その他	27	176,000	35.6
計	32	495,000	100.0

【事業】

主たる業務

秋田ふるさと村の管理運営

事業実績

(人)

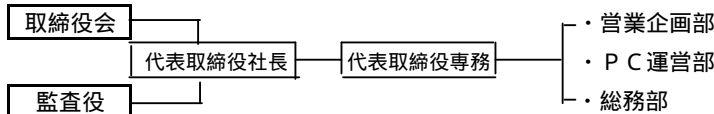
事業名等	19年度	20年度	21年度
入村者数	729,342	720,760	696,645
入-初什城	114,244	111,892	117,704
かまくらシアター	36,658	32,817	34,388

21年度事業概要及び22年度事業計画・目標

平成21年度は、新型インフルエンザの流行により、各種団体や学校利用のキャンセル、ファミリー客の減少などが、集客には大きな打撃となり、入場者は目標の75万人に及びませんでした。しかしながら、「B-1グランプリ」をはじめとする各種イベントの開催効果や高速利用割引制度の効果等による県外客の増加で、有料見学施設の利用やお土産品の売り上げは、昨年を上回りました。平成22年度は、夏休み期間に累計入場者1,000万人を達成することが見込まれることから、これを機に、全社を挙げて記念イベントの開催に当たるなど、積極的な営業活動を展開して、年間入場者70万人の獲得と単年度営業黒字の継続に努力します。

【組織】

運営機構



役員数(H22.7.1現在)

(人)

	取締役	監査役
常勤	2	
内、県退職者	2	
内、県職員		
非常勤	7	1
内、県退職者		
内、県職員	1	
計	9	1
内、県関係者	3	

職員数(H22.4.1現在)

(人)

正職員	19	正職員平均年齢	正職員平均勤続年数
内、県退職者			
出向職員		37.4歳	11.3年
内、県職員			
臨時・嘱託	12		
内、県退職者			
計	31	正職員平均年収	3,283千円
内、県関係者			

役員報酬支給対象者数	3人
役員報酬支給対象者平均年齢	64歳
平均役員報酬額	3,450千円/年

【財務】

損益状況(21年度)

(千円)

	金額
経常収入 A	509,951
受託事業収入	248,239
補助金収入	
自主事業収入	258,233
運用益収入	
その他	3,479
経常支出 B	456,913
人件費	98,057
その他	358,856
経常損益 C = A - B	53,038
経常外収入	5,450
経常外支出・諸税	26,366
当期損益	32,122

財務状況(21年度末)

(千円、%)

	金額	構成比
流動資産	397,535	65.1
固定資産、繰延資産	212,950	34.9
資産計	610,506	100.0
流動負債	97,278	15.9
短期借入金		
固定負債	16,869	2.8
長期借入金		
負債計	114,147	18.7
資本金	495,000	81.1
剰余金	1,359	0.2
純資産計	496,359	81.3
負債・純資産計	610,506	100.0

(千円)	
県の損失補償額	県の債務保証額

(千円、%)			
退職給与引当状況	要支給額	引当額	引当率
	14,601	14,601	100.0%

上記の他に、役員退職慰労引当金2,268千円

【県の財政支出】

(千円)

	19年度	20年度	21年度	支出目的・対象事業概要等
補助金				
委託費	269,771	260,482	248,239	秋田ふるさと村、近代美術館維持管理等業務委託、ふるさと魅力発信事業
貸付残高				

## 1 主な経営指標

項目		単位	19年度	20年度	21年度	19-20増減	20-21増減
健全性	自己資本比率	%	77.45	81.24	81.30	3.79	0.06
	借入金依存率	%	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	流動比率	%	302.58	396.51	408.66	93.93	12.15
収益性	剰余金(欠損金)	千円	54,690	30,762	1,359	23,928	32,121
	経常利益率	%	7.72	8.30	10.40	0.58	2.10
	総資本利益率	%	7.32	7.75	8.69	0.43	0.94
発展性	経常収入額	千円	539,133	533,531	509,951	5,602	23,580
効率性	総資本回転率		0.95	0.93	0.84	0.02	0.09
	職員1人当たり経常収入	千円	19,255	17,784	16,998	1,471	786
	人件費比率	%	18.80	19.93	19.23	1.13	0.70

## 2 経営目標の達成状況

経営目標			19年度	20年度	21年度	22年度
経営改善指標	当期利益(千円)	目標	10,626	9,899	14,151	14,115
		実績	22,100	23,928	32,122	
売上高人件費率(%)		目標	16.3	16.3	19.1	20.2
		実績	19.0	19.9	19.2	
事業成果指標	自主事業収入(千円)	目標	300,010	297,555	263,488	265,880
		実績	272,951	264,448	258,233	
入村者数(人)		目標	790,000	720,000	750,000	700,000
		実績	729,342	720,760	696,645	
顧客満足度指数		目標	-	-	-	-
		実績	-	-	-	-

## 3 経営状況及び課題、経営目標の達成状況についての自己評価

さまざまなイベントの実施や個別施設の魅力アップ、経費縮減の取り組みなどにより、平成11年度末には最大163,345千円に上った累積損失を解消することができました。また、平成14年から8期連続で約70万人のお客さまをお迎えし、秋田県の観光拠点として、その役割を担うことができました。今後も更なる利用促進と経営基盤の強化を図り、老朽化した施設、設備の改修による安心、安全、快適性の確保、ハード、ソフトのリニューアル、県外営業活動による集客、観光情報発信機能の強化、テナント運営の強化等の課題に取り組めます。

## 4 総合評価(計算書類等の資料による評価)

概ね安定した経営内容	一層の努力を要する経営内容
<ul style="list-style-type: none"> <li>・業務委託料が減少したこと、また高速料金割引制度による入場者数増加も見られたものの、新型インフルエンザの発生と地域経済の低迷により、入場者数が70万人を割り込む厳しい結果となったことにより、経常収入は24百万円の減少となった。これに対し、人件費8百万円、その他経費24百万円の削減を図り、経常収益は8百万円改善した。</li> <li>・当年度で欠損金を解消し、一定の成果を挙げたことは評価できる。今後も引き続き、地域活動と連携した営業活動により、集客力を高める安定した経営が期待される。</li> </ul>	